

いしや先生

町おこし映画顛末記 番外編

佳ベ

皆さん、お久しぶりです。私たち山形県民の宝・志田周子の生涯を描いた町おこし映画「いしや先生」。昨年11月7日の初日以来、たくさんの方に足を運んでいただき、最後はなんと、県民の実に52人に1人が見てくれた計算になる動員数を記録することができました。なんとまあ、幸せな映画です。本当にありがとうございます。

今年1月には有楽町の劇場から全国へと動き出し、その後、全国を少しずつ回ります。そして、いよいよ今月からは映画館以外での上映が始まります。つまり、おだぐの町の体育館や公民館などでも見てもらえるようになります。映画館まで遠くて自力ではなかなか足を運べなかつた、じんちゃん、ばんちゃん、お子さん

が「ちょっと、誰かなんか悪いことしてないよね?」梯次郎、大丈夫?」と冗談を言つたもんだから、控室はギリギリまで、超アナログ方式の営業活動を続けました。電話と手紙、面会です。バーンと広告と

本日の勝負は、顛末記が終わつた後から本番よおいスタートでした。私たち



次なるステージへ!

が「ちょっと、誰かなんか悪いことしてないよね?」梯次郎、大丈夫?」と冗談を言つたもんだから、控室は大爆笑。皆さんの緊張が一気にほどけて、リラックストしました。まことに良いチームだべつです。

東京のど真ん中、老舗の劇場のステージの上で、カメラのフレッシュを滲のよに浴び、いしや先生は全國へと船出しました。西川町の小川町長の、あの幸せ

お土産にもらつて帰るお客様の中には、きっと山形を訪れる人もいるでしょう。有楽町での劇場公開は毎日、満席に近い状態が満々でした。また、舞台あいさつに臨むことができました。手前みそながら、本当に良いチームだべつです。

この喜びを、一番分かち合いたい方がいました。志田周子の生涯を甦らせる会長の阿部幸一さんです。阿部会長は、皆さんもきっと存じでしよう、清流庭園・玉賀の社長さんで月山朝日観光協会の会長さんで

でも知るのです。迎えた有楽町ヒューマントラストシネマでの初日。終わっても、「いしや先生」のプロジェクトはずつと動いておりました。山形では大成功を收めても、県外の方々にも楽しんでもらえなければ意味がありません。

ですが、先立つお金が、ねえ。でも、結果として、何より強いのは顔を合わせてつないできただご縁だといふことを、われわれはここでも知るのです。でも、お客様は、私もスタッフも、皆がハッピーナーで、そのくらい許してもらおうね。月山の自然水をきました。「すごいですよ、大混乱。興奮した私は俳優さんたちの控室に走つていきました。でも、お客さ

もすごい数のカメラがきいておりました。山形では、マスコミの数! テレは、マスコミの数! テレくださった池田有希子さん

が「ちょっと、誰かなんか悪いことしてないよね?」梯次郎、大丈夫?」と冗談を言つたもんだから、控室は大爆笑。皆さんの緊張が一気にほどけて、リラックストしました。まことに良いチームだべつです。

東京のど真ん中、老舗の劇場のステージの上で、カメラのフレッシュを滲のよに浴び、いしや先生は全國へと船出しました。西川町の小川町長の、あの幸せもありました。3月17日、永眠されました。おしゃれ

(脚本家・作家、尾花沢市出身)